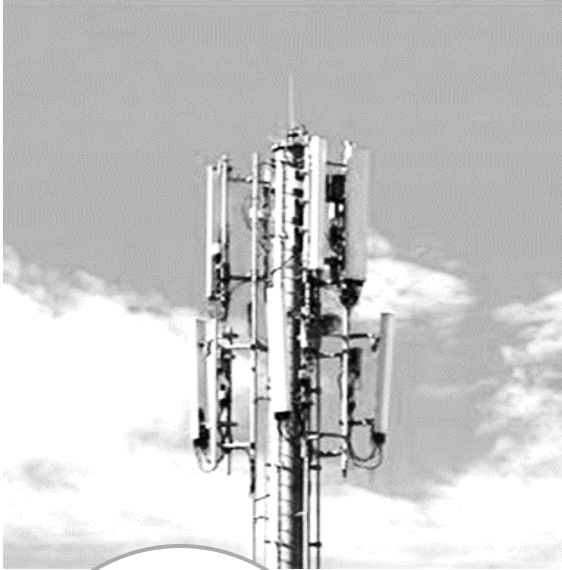




稲城・生活者ネットワークが30周年を迎えました

生活者ネットワークは「暮らしの中の課題を政治の場に！」を合言葉に、暮らしの中で見えてくる様々な問題を、大勢の仲間と調査し、解決策を考え、自治体に提案するために、都議会や市議会に議員を送り出してきました。

これからも、私たち生活者ネットワークは次々と尽きることのない「生活に根ざした課題」を掘り下げ、「政治課題」として議会に届け、大勢の声を反映した「政策提案」を行っていきます。



30周年記念オンライン学習会を開催します。

「5Gは安全なのか？電磁波について学ぼう」

講師：上田昌文氏（NPO法人市民科学研究室）

日時：12月20日(日)13:00～15:00

参加費無料

※ZOOMの環境のない方はお問い合わせください。

申し込み・お問い合わせ：稲城・生活者ネットワーク
inagi@seikatsusha.net 042-379-2435

電磁波って
どんなもの？
体に影響あるの？
5GのCMすごいけど！
何が変わるの？

もっと知りたい！

- あなたの回りの電磁波を測ってみませんか？
 - 体にたまった電磁波を抜く、アーシングとは？
 - 家屋の電磁波対策は？
- 一緒に調べてみませんか？

▼学校への無線LANや基地局の設置は、子どもへの健康調査や保護者の意見の聞き取りなどを十分に行い慎重に行うべきと訴えま

▼しかし、電磁波が人や環境に与える影響については未知の部分が多く研究が必要で、海外では、無線LANの電磁波から子どもを守るために、学校には有線LANを設置し、無線LANを使う場合は使用時間を制限するよう求めている国もあります。

▼新型コロナウイルスの影響で、オンライン教育の整備が前倒しで進められています。国の「GIGAスクール構想」では、教室に高速無線LANを配備することが視野に入れられています。企業の補助を受け、将来的には5Gも可能な基地局を学校の敷地内に設置する学校も現れ始めました。

9月議会一般質問より



市議会議員
村上洋子

30周年を迎えて

私たちは多摩川が泡立っていた頃、合成洗剤を止めて「石けん」を使おうと呼びかけました。

ダイオキシンを知り、ゴミの分別と減量を呼びかけてきました。いくつかの問題を調べ、市民に呼びかけ、政治の場に明らかにして解決策を提案しました。

けれども、次々と新しい問題が生まれます。原発事故や大きな震災も起きました。放射能や化学物質・電磁波などが目には見えないけれど生活を脅かしています。

そして、余裕のない生活が大人にも子どもにも「いじめ」の連鎖を生んでいます。

私たちはあきらめずに向き合って取り組んでいきます。「自己責任」を前面に出した「共助」ではなく、「寛容なやさしい社会」をめざしていきます。

あっちこっち稲城

市民の活動を紹介します

「フードバンク稲城」をはじめました

2020年4月、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中、仕事もできなくなつて「稲城にフードバンクはないでしょうか？」と困っている人がいることを聞きつけました。

イベントの時など「フードドライブ」で食品の寄付を募っているのを見ていましたので「きっとあるだろう」と思っていたのですが、集まった食品などを実際に支援して欲しい方に繋げるための中間組織「フードバンク」はありませんでした。

それならと、仲間を掛けてみるとすぐに支援の輪ができました。「寄付したい」「受け渡し場所と電話の取り次なら」と申し出てくれる人やグループがありました。

市の「福祉くらしの相談窓口」や「社会福祉協議会」に連絡して、必要な方がいれば支援できますとお伝えしました。

これまでに、延べで約300件程の支援を行いました。

大人ひとり一週間分くらいの食品を目安に、家族構成によって支援の量を考えます。6月から7月になると依頼は少し落ちつきましたが、それでもポツポツ相談があるので、「細くても長く続けていく」ことを今は目指しています。

寄付をいただいた方々に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

また、これからは賞味期限内の食品(生物)はお受けしていません(現金などの寄付をお受けしておりますので、よろしくお問い合わせします。 大丸在住 駒込好

ご連絡は、寄付・支援要請とも「フードバンク稲城」

TEL 042-401-6503

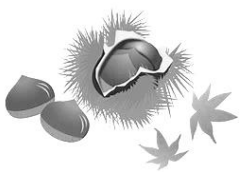
たすけあいワーカーズこんべいとう気付

(火、水、木の10時から13時)

4月〜現在までに頂いた寄付

現金約8万円

食品(缶詰、素麺、珈琲、米など)



東京・生活者ネットワークのあゆみ

- 1977年●「生き方を変えよう」をスローガンに練馬で都議選に初挑戦。生活者ネットワークの前身「グループ生活者」を練馬で結成
- 1979年●初めての区議会議員が練馬区で誕生
- 1985年●「政治を生活の道具に」を掲げ北多摩二区で都議会議員誕生
- 1988年●「グループ生活者」から「生活者ネットワーク」に組織再編
- 1989年●東京都に食品安全条例の制定を求める直接請求運動に取り組む
- 1991年●東京都にリサイクル条例制定を求める請願運動に取り組む
- 1993年●「東京を変える」を掲げ都議会議員が3人になる
 - ▶「遺伝子組換え食品の表示の確保についての請願」に取り組む
- 1997年●「バリアフリーの東京をつくる」を掲げ、まちのバリアチェック活動
- 1999年●統一地方選で「子育て・介護は社会のしごと」と訴え57人の都・市・区議会議員となる
- 2000年●東京都に子どもの権利条例制定を求める請願運動に取り組む
 - ▶介護保険のスタートに伴う実態調査に取り組む
- 2001年●「東京を生活のまちに」と訴え都議選で6人全員当選
 - ▶東京都「化学物質子どもガイドライン」制定
- 2003年●統一地方選挙で「地域力・市民力 安心・共生のまちをつくる」と訴え63人の都・市・区議会議員となる
 - ▶東京都に食品安全条例制定
- 2005年●「働く・育てる 市民力」をスローガンに3人の都議会議員が当選
- 2007年●統一地方選・都議補欠選で「こだわって地域 変えます！議会 つくります！仕事」を掲げ都議会議員4人、市・区議会議員51人になる
- 2009年●「市民が育てる 東京・未来」をスローガンに3人の都議会議員が当選
- 2011年●統一地方選を経て54人の都・市・区議会議員となる
 - ▶「原発」都民投票条例の制定を求める直接請求に取り組む
- 2013年●「2013 生活者宣言 大事なことは市民が決める」と訴え3人の都議会議員が当選
- 2015年●統一地方選を経て54人の都・市・区議会議員となる
- 2017年●「チャンス！東京を変える」と訴え北多摩二区で都議会議員が当選
- 2018年●48人の都・市・区議会議員となる
- 2019年●統一地方選を経て、42人の都・市・区議会議員となる

私たち稲城・生活者ネットワークは、今年で結成から30年を迎えました。最初に取り組んだ課題は、「水」「食品の安全」「大気の汚染」など「命」に直結する問題でした。

当時はまだ生活の課題が議会で取り上げられることは少なく、「生活者」という言葉も「生活者ネットワーク」によって広く用いられるようになりました。今ではどの政党も「暮らしの中の課題を政治に」と呼びかけていますが、生活者ネットワークが投げかけた「一滴」が大きく広がったと自負しています。

稲城・生活者ネットワークのあゆみ

- 1990年◆稲城・生活者ネットワーク設立
- 1991年◆市議会 岩佐いずみ初当選
 - ▶自校方式給食を求める請願活動
 - ▶「よりよい給食をすすめる会」に参加し、パレット皿から個別食器に改善
- 1995年◆市議会 横田こうこ初当選
 - ▶一言提案から「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を制作の柱とする
 - ▶「都市マスタープラン」制定を提案
 - ▶「稲城・緑マップ」づくりに取り組む
- 1999年◆市議会 横田こうこ2期目当選
 - ▶介護保険のスタートに向けた調査活動に取り組む
 - ▶東京都「子どもの権利条例」制定に向けて調査活動
- 2001年◆都議会 新井美沙子当選
 - ▶介護保険のスタートに伴う実態調査に取り組む
- 2003年◆市議会 中村みほこ初当選
 - ▶環境ホルモン・遺伝子組換え食品の調査活動
 - ▶一言提案から一般質問し、地域振興プラザのバリアフリートイレを実現
- 2005年◆都議会 原田恭子当選
- 2007年◆市議会 中村みほこ2期目当選
 - ▶子育て支援、障がい者支援、在宅介護支援の充実を提案
 - ▶向陽台小「ふれあいセンター」の提案が実現
 - ▶クリーンセンター多摩川での有害ゴミの焼却実験を明らかにする
- 2011年◆市議会 中村みほこ3期目当選
 - ▶災害時要援護者の避難対策を提案
 - ▶子宮頸がんワクチンの中止を求めて議決される
 - ▶発達障がいへの理解とインクルーシブ教育の提案
 - ▶LGBT、セクシャルマイノリティーの子ども・若者への支援を提案
 - ▶“ひきこもり”へのアウトリーチの提案
- 2015年◆市議会 村上洋子初当選
 - ▶生活困窮者支援の充実を提案
 - ▶妊娠から出産子育ての切れ目のない支援を提案
 - ▶多様な性を認め合う施策の提案
 - ▶給食食材基準の策定を求めて実現
 - ▶給食に市内産野菜を推進し、食・農・共に働く場づくりの循環を提案
- 2019年◆市議会 村上洋子2期目当選
 - ▶保育の質の確保を提案
 - ▶プラゴミ削減を提案

生活者ネットワークとは

議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を生かします。

議員報酬は

市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員も報酬に応じた寄附(カンパ)を行い、市民の政治活動資金に生かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

議員報酬管理内訳(稲城ネット2019年度)

*収入		
議員報酬	7,859,534	
委員会手当他	264,633	多摩川衛生組合
利息	9	
合計	8,124,176	
*支出		
寄附	3,346,148	事務所経費他
議員経費		
契約金	2,800,000	議員受取分
税金他	1,978,028	
合計	8,124,176	

選挙はカンパとボランティアで

選挙は政治に参加する入口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

映画上映会のお知らせ



『いただきます2 ここは、発酵の楽園』
11月29日(日)

会場: 地域振興プラザ 大会議室

*参加費500円 学生子ども無料
第1部 14:00~(13:45開場)
第2部 16:30~(16:15開場)

申し込み: inagi.9shoku@gmail.com

メールには以下の内容を明記してください。
件名: いただきます上映会
お名前 ご連絡先
参加人数(お子さんの人数も) 参加時間帯